

博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	大阪大学	申請大学長名	西尾 章治郎
申請類型	オールラウンド型	プログラム責任者名	小林 傳司
整理番号	A02	プログラムコーディネーター名	藤田 喜久雄
プログラム名	超域イノベーション博士課程プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

超域イノベーション博士課程プログラムでは、さまざまな専門領域、国境、既成観念、相場観といった「境域」を超えて社会システムの変革を導くイノベーション、すなわち、超域イノベーションを実現するための高度な専門力とそれを超域することによってさまざまな分野で活用するための汎用力に支えられた知的体力と勇気を持つグローバルリーダーとなる博士人材を養成することを目的とする。

大阪大学では、総合的な知を創出し希望ある未来を切り拓くことこそが大学に求められる使命であり、大学が担うべき真の意味でのイノベーションへの貢献であるとの考え方のもと、多様な知の協奏により卓越した知を共創し、社会や世界に還元していくことを目指している。本プログラムは、それに向けた取組の一つであり、学士課程から博士課程に至る多様な教育に反映させていくことをも展望しつつ、全学体制で強力で推進し、発展させていく。

2. プログラムの進捗状況

- ・ 四期生15名を受け入れ、コア科目群、知識・教養系科目群、展開力系科目群、言語科目群、アクティビティ科目群からなる独自のコースワーク(全66科目)や諸活動を実施した。4年次となった一期生に対して、各履修生が社会のフィールドに赴き課題発見や課題解決に挑むことにより専門力や汎用力をより強固なものにする「超域イノベーション実践」を新たに導入したほか、当該分野のエッセンスを学び取るモジュール科目や海外でのフィールドスタディ、社会課題の解決にチームで挑み汎用力を具体化させる「超域イノベーション総合」などの特徴的な科目を継続して実施した。
- ・ 履修生の自主的活動支援の枠組みとして「独創的教育研究活動経費」を運用し、40件の取り組みを支援して、履修生の企画力や実践力等を高めた。
- ・ 履修生のキャリアイメージを具体化するために、先駆者を招いた座談会形式による「フューチャーリーダーズ・フォーラム」を5回開催した。
- ・ 学界3名、産業界3名からなる外部評価委員会を組織し、10月にその第四回の評価委員会を実施するなどして、プログラムの進捗を自ら評価確認した。
- ・ 五期生の募集について、書類審査と面接による一次選抜・小論文やワークショップなどによる合宿型の二次選抜を実施した。
- ・ 大阪大学シンポジウムを3月に開催し、社会にプログラムの意義を問いかけ、産官民との連携や協働、履修生のキャリアパス開発への足掛かりとした。